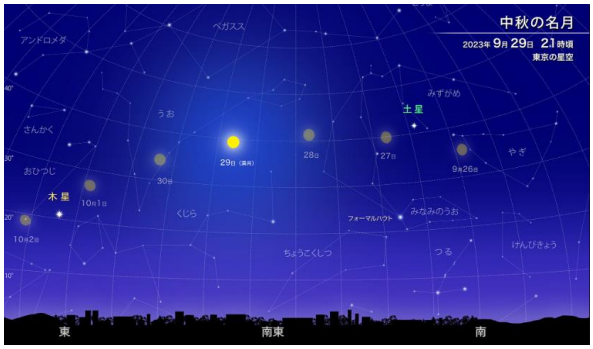
宮城小通信

郡山市立宮城小学校
学 校 便 り　№３５
令和５年９月２９日
文責：校長 伊 藤 孝 行

今夜の月は「中秋の名月」です。



９月２９日（金）午後９時頃南東の空に「中秋の名月」を見ることができるかもしれません。

「中秋の名月」とは、旧暦の８月１５日の夜に見える月のことを指します。

中秋の名月を見て楽しむ習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。

日本では中秋の名月は農業の行事と結びつき、作物が実る時期から「芋名月」などとも呼ばれることもあります。

今夜はお月見を楽しむご家庭もあるかと思います。お月見に欠かせないものといえば、「月見団子」や「すすき」、「里芋」、「ぶどう」などがあります。

その中の「すすき」を飾る理由を解説したいと思います。「すすき」を飾る理由は二つあります。

① 神様を呼ぶ「依り代（よりしろ）」としての稲穂の代わりとして飾る。

② 魔除けとして飾る。ススキの切り口が鋭い、というのがその理由。

お月見にススキを飾るのは、豊作を願うことと合わせて無病息災の願いも込められていたのです。

秋の全国交通安全運動は９月３０日までです。

２７日（水）と２９日（金）に行いました交通安全教室の中で、子どもたちにお話したことは二つあります。

一つ目は、統計資料を使って今と昔の交通事故の比較です。二つ目は、自分の命は自分で守るということです。

＜交通事故死者数・交通事故件数・自動車台数＞

交通事故による死者数		
1970年	１６，７６５人	−14,155人
2022年	２,６１０人	６分の１以下
交 通 事 故 件 数		
1970年	約７１万８千件	−約41万件
2022年	約３０万８千件	２分の１以下
国内の自動車台数		
1970年	約２,１００万台	+2,600万台
2022年	約４,７００万台	２,２倍以上増

上の表をご覧いただくとわかるように、現在と５０年以上昔では、国内の自動車台数が２倍以上になっているのにも関わらず、死者数や交通事故件数は大きく減少しています。

それらは、車の安全性能の向上や、交通ルールが厳しくなったことが理由としてあげられますが、毎年行っている「交通安全教室」のような交通事故防止について学ぶ教育が大切だということ。

二つ目の「自分の命は自分で守る」ということは、交通事故防止のため子どもたち自身ができることがたくさんあるということ。

例としては、自転車に乗る時は「必ずヘルメットを着用する」「車に乗る時は、全員がシートベルトを着用する」などです。

１０月１日（日）中田地区市民運動会です。

中田スポーツ広場で、第６３回の中田地区市民運動会（開会８時３０分）が行われます。

子どもたちが、地域の一員としての意識をより高めるうえでも積極的に参加されるとよろしいかと思います。